

3月議会 あらまし



※全議案の議決結果は
ホームページでご覧
いただけます。

令和5年第1回定例会（3月議会）は、3月1日に開会し、27日までの会期で開催しました。代表質問は9日に3人、一般質問は10日、13日、14日に10人の議員が質問を行いました。15日からの予算決算委員会では、一般会計・特別会計それぞれの当初予算及び補正予算を審査しました。

27日の議案審議では、令和5年度一般会計、特別会計及び企業会計予算を含む村長提出議案30件すべてを可決しました。

令和5年度一般会計予算 総額215億8,200万円を可決

～ポストコロナを見据え、持続可能なまちづくりを推進～

村民の暮らしを支える令和5年度一般会計予算は、前年度を27億5,200万円上回る215億8,200万円で、賛成多数で可決しました。P3ページで注目の施策をご紹介します。

賛成（15）

反対（1）

賛成議員の主張

河野 健一 議員(新政とうかい)

「DX」及び「GX」の推進や「次世代への投資」など将来を見据えた予算となっている。「省エネ家電導入促進事業」では、村内事業者から購入した場合、補助額が多くなるなど地域経済の活性化を意識した取組を評価する。

恵利 いつ 議員(光風会)

世界情勢は混沌としている。物価高騰の住民生活への影響はますます大きくなり、しばらく続くとみる。当初予算を基本としつつも、住民を取り巻く状況を注視し、生活の安定安心のために適宜、迅速に対応すること。

反対議員の主張

大名 美恵子 議員

個人情報保護と深く関わるマイナンバーの活用及び自治体DXの推進は、個人情報保護法改定と関わって、個人の基本的な人権を守れない危険がある。行政で重要なのは村民の顔を見て必要な対応をとることである。

DX…デジタルトランスフォーメーションの略
GX…グリーントランスフォーメーションの略

発委第1号

議会個人情報保護に関する条例を制定

個人情報保護に関する法律の一部改正により、地方公共団体の執行機関が新たに同法の適用を受けることとなる一方で、国会や裁判所と同様、地方議会には自立的な対応のもと個人情報の適切な対応が望まれることから適用対象外とされました。議会における個人情報保護条例制度を維持する上で必要があるため条例を制定しました。

